

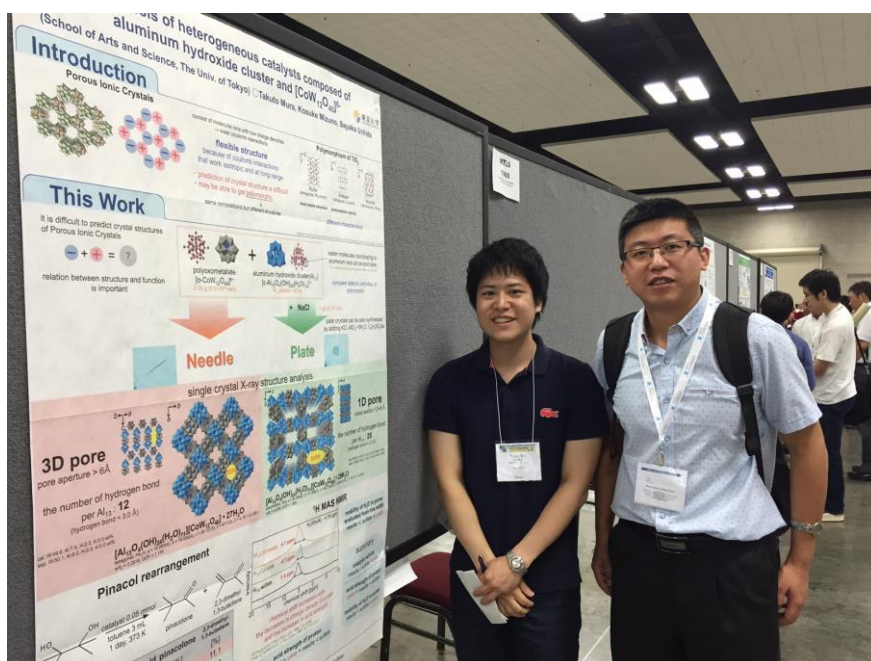
2015 環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2015) 参加報告

相関基礎科学系 修士課程 2年 村 拓人 (内田研究室)

「修士・博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受けて、アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島ホノルル市で開催された、2015 環太平洋国際化学会議

(Pacifichem 2015) に参加しました。環太平洋国際化学会議は、日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、中国の 7 化学会主催で、1984 年に始まり、今年で第 7 回目となります。会期は 2015 年 12 月 15 日 (火) ~20 日 (日) でした。私は、「Metal-oxo Clusters: Molecular Design from Monomers to Infinity」の分野に参加しました。

私は 12 月 18 日 (金) に「Synthesis of heterogeneous catalysts composed of aluminum hydroxide cluster and $[\text{CoW}_{12}\text{O}_{40}]^{6-}$ 」というタイトルでポスター発表を行いました。酸点を持つ大きなイオンからなる多孔性イオン結晶を合成し、不均一触媒としての利用を検討するという研究でした。国際学会の参加は初めてでしたが、発表中はリラックスして議論することができ、たくさんの質問・意見を頂くことができました。また大規模な学会でしたので、自分の専門外の研究発表を聞くいい機会でした。この経験を活かして更に研究を深めたいと思っています。



ポスター発表の様子。質問して下さった方とともに